

## 雑誌の名称変更にあたって

東日本歯学雑誌は、昭和57（1982）年12月に第1巻第1号が創刊され、以来23年間、年2回（6月と12月）定期的に発行されて来ました。この雑誌の目的は、歯学研究発展のために東日本歯学会会員の研究成果を国内、および国外へ広く発信することであり、さらにこのことによって会員の研究が前進することを目指して来ました。この間、雑誌には多数の原著、総説、臨床、教育に関する論文が掲載され、また、博士の学位論文発表の場ともなりました。近年の世界の歯科医学、生物学の進歩は目覚しく、本大学の歯学部の研究内容も世界の進歩に遅れることなく、日々変化してまいりました。

平成6（1994）年には、大学の名称が東日本学園大学から北海道医療大学に変更されましたが、法人名に東日本学園の名が残りましたので、東日本歯学会および東日本歯学雑誌の名称はそのままにしました。しかし、それから10年経過し、北海道医療大学の名も世間に広く周知されるようになりましたので、本年2月の総会で、北海道医療大学歯学会および北海道医療大学歯学雑誌に名称を変更することにいたしました。

会や雑誌の名称は変わっても、目指すところは変わりませんので、会員の皆様の今後のご協力、雑誌へのご投稿をよろしくお願い申し上げます。また、本学の廣重理事長・学長はじめ、多数の方々にご支援、ご協力いただいていることに深く感謝申し上げますとともに今後とも変わらず、ご支援下さいますようお願い申し上げます。

平成17（2005）年6月

北海道医療大学歯学会会長 武田正子

